



議会だより

の
の
の
の
の
え

No.129

2020.4.17発行



- 決まりました！
新年度の予算と事業計画 …… P.2~4
- わたしのひとこと …… P.19
東飯田・川上一 甲斐 恭子さん
南山田・串野上 永楽 徳子さん
- バトンをつなぐ／議会クイズ … P.20

小中卒業式風景：1段目左から東飯田小、野上小、2段目淮園小、
3段目左から飯田小、野矢小、4段目南山田小、5段目緑陽中

新年度予算を決定

一般会計 **79億7,400万円**

(対前年比 12.9%増)

特別会計総額 **33億6,460万円**

(千円以下切捨)

内訳

国民健康保険	14億5,922万円	介護保険	14億6,356万円
水道	2億3,284万円	後期高齢者医療	1億4,077万円
飯田高原診療所	6,819万円		

全会計 **113億3,860万円** (対前年度比 9億4,677万円増 (9.1%))

当初予算質疑

歳出

小川克巳議員

Q 山の日記念大会400万円の内訳と、山の日歓迎フェスティバル補助金330万円の詳細は。

A 記念大会事業費総額5千万円で九重町が400万円、竹田市と別府市がそれぞれ200万円、残りは大分県負担金等でレセプション等に使われる。330万円の歓迎フェスティバルは、毎年行っているじゅうフェスを兼ねて行うことで事業の充実を図る。

Q 社会教育施設費の工事請負費415万円の内容は。

A 基幹集落センターの階段上部の壁補修工事に209万円と飯田公民館の調理室にエアコン設置に180万円。

Q 長者原オートキャンプ場修繕料50万円の内訳は。県から譲り受ける時、修繕は全て

行ったと聞いたが。

A 現在、修繕箇所はないが、緊急対応のため、予算計上している。

Q シェアバイク導入実証試験負担金の詳細は。

A やまなみハイウェイで利用する電動機付自転車50台の購入費等である。

佐藤明郎議員

Q 台湾の中学校との交流に300万円計上、生徒平等に効果的な運営が必要。

A 事後報告会の徹底や、ネット交流なども目指したい。

Q 淮園小学校の大規模改修、統合の可能性もある中、改修の必要性は認めるが、規模をどう考えるか。

A 財政面も考え、規模も含め、慎重に検討する。

Q 住民型支え合い団体への支援金、有り難い支援だが、住民自ら行政に頼らない理念と

の整合性は。

A 人的、事務費支援に限る。住民自らの活動は自主的に行ってもらう。

増田裕子議員

Q 公共施設総合管理等委託（このえ総合サービスへ）が増額しているが、支援金がなくなる来年度新たに一般管理費510万円など、納得しがたいが積算根拠は。

A 一般的にも通用する適正な見積もりである。

Q フツ化物洗口予算、慎重に取り組んでほしいが、昨年より増額した理由は。

A 来年度小学校では4月から、中学校では7月からの予定である。

Q 淮園小学校設計にあたり、建築予定費上限を設けているか。

A 東飯田小の実績程度かと想定しているが、特に設けていない。節約には努める。

Q メリハリのある予算設計を望むが、「令和創造枠」とは。

A ふるさと創生事業の少子高

齢化対策、新しい時代を築く重点事業である。

菅原美好議員

Q 国から新たに森林環境譲与税3、746万円が給付されるが、森林環境直接支援事業補助金（植栽、下刈り、間伐等）に充当してはどうか。

A 用途に制限があるが、この譲与税を活用できるように努力したい。

Q 町有林の管理委託104万円、整備委託300万円ある。新たに設立した総合サービス会社にすべてを委託しては。

A いろんな角度から、利用できよう検討する。

Q 定住促進で2、800万円の予算で釣住宅の空き地に分譲区画販売を計画しているが、そんなに予算をかけず無償で提供を。

A 制限があるが、安く造成して、分譲したい。

Q 町委託の顧問弁護士に55万円と係争時弁護士50万計上されている。顧問弁護士委託55

万円は必要なのではないのか。法的に置かなければならないのか。

A ほとんどの市町村は予算計上されている。検討してみる。

佐藤博美議員

Q 空き家バンク物件登録業務委託（20件分）169万円、たった20件分の空き家バンク登録業務委託で空き家バンクの充実ができるのか。

A 今回、予算計上したのは、登録物件に関する事務的な支援で専門的見地からバンクに登録し、利用者とのトラブル防止が目的。今後、件数を増やす努力は必要だが、はじめての取り組みのため20件としている。

Q 飯田小学校のグラウンドの排水対策費3、000万円、あまりにも高すぎるのではないか。

A 毎年修繕で対応して来たが、根本的にやり直す必要がある、計上している。削減できる分は、少しでも削って行く。

歳入

増田裕子議員

Q 地方交付税は年々少しずつ減っている現状だが、前年並みの見込み予算はなぜか。緊張感を持つ必要があるのでは。

A 十分な見込みによる予算である。

佐藤明郎議員

Q 繰越金（貯金より）町債（借入金）を合わせると歳入の24%近くを占めるが、危機感はどうか。

A 見込み範囲であり、健全

活発な審議がおこなわれました！

5億1,823万円



町民の安全を守る防災無線デジタル化

新たに取り組む
主な事業

3,900万円



小学校におけるICT推進事業

4,000万円



飯田小学校グラウンド整備

3,000万円



定住促進を図る釣住宅・宅地造成

温暖化対策

マイバック推進事業 …… 237万円
(全世帯へ配布)

住民型支え合い団体支援… 276万円

九重町生物多様絵本作成… 296万円

ハザードマップ作成 …… 618万円
(内容を充実)

子育て支援関係 …… 4,685万円

空き家住宅利活用 …… 2,854万円

令和元年度 補正予算

一般会計

補正額 △2億2,293万4千円
補正後額 71億3,200万1千円

特別会計

	補正額	補正後額
国保	△5,324万1千円	15億3,329万2千円
水道	△600万円	1億3,082万5千円
飯田高原診療所	△61万5千円	6,804万円
介護保険	△7,443万8千円	15億77万6千円
後期高齢者医療	△72万1千円	1億3,753万9千円
計	△1億3,501万5千円	33億7,047万2千円

補正予算質疑

こんな意見が出ました

佐藤明郎議員

質問

スクールバス運行委託、入札残が多額であり、早期減額処理すべき。

回答

タイヤ、車検も含むため余裕を持ちたいが、入札分は今後気を付けたい。

小川克巳議員

質問

プレミアム商品券に関する三千六百万円の減額、要因は何か。

回答

周知徹底を図ったが、結果的に申請率が低かった。

増田裕子議員

質問

大分子育てホットクーポン券、減額の要因は何か。

回答

一万円掛け出生数であり、出生数の減による。

菅原美好議員

質問

災害復旧費が多額に減額されている。当初予算の在り方や、災害時に臨時議会で補正対応すべき。

回答

災害発生が読めない中、迅速性も求められるため、当初予算で確保したい。

有吉富生議員

質問

減額幅が大きい地区集会所改修事業、同一施設で2回目の活用を可能にすべき。

回答

年度内は1回だが、複数回の活用も可能である。

佐藤明郎議員

質問

地区集会所改修事業の要綱、工事費の基準を見直すべきである。

回答

現状維持と考えているが、要望が多ければ、検討の余地はある。

菅原美好議員

質問

新型コロナウイルス対策として、予備費を使って町独自の予算化を。

回答

非常に厳しい部分もあるが、当然検討していく。

補正予算

1/17

- 一般会計補正予算
歳入歳出に654千円追加し、
総額 **73億5,559万円**とする
- 水道特別会計補正予算
増減なし（区分変更）
総額 **1億3,682万円**

小規模給水施設整備事業に関する補正等

財産取得 防災用品整備事業 防災備品用品購入

契約先	株式会社 消防防災 大分本店 本店長 葛城 繁利
契約額	1,324万810円
新規備品	LED投光器、インバーター発電機、パーティション、プライベートルーム、段ボールベッド、簡易ベッド
新規備蓄倉庫	東飯田交流センター付近設置

2/10

臨時会

淮園小学校(教室棟)の大規模改修を 自立促進計画に追加します

教育委員会が小学校6校の維持を決定したことから、老朽化が進んでいる淮園小学校の教室棟を、大規模改修する計画を追加することとなりました。

様々な意見が出されましたので、当ページ下段にて紹介します。



大規模改修が計画された淮園小学校

総務建設産業常任委員会
審査報告

議案
15件

消防団員の定数を 420名⇒400名へ

現在消防団員は、380名程度で推移しており、団員確保に努力していますが、定数で定めている420名の確保は厳しい現実があり、今回400名に変更しました。これにより、県への拠出金削減にもつながります。

又、団員になるための、資格制限に含まれていた「成年被後見人又は被保佐人」を削除して、消防団員の適正な任用を図るようにしました。



大分県知事を迎えての特別点検

町営住宅の入居手続の負担軽減

町営住宅の入居手続を軽減するため、保証人の条件を緩和し、今まで2人必要だった保証人を1人でも良いこととしました。

公共施設の将来負担をめぐり白熱の議論

教育委員会・小学校再編計画を改定

「小学校は6校とします。但し、全校児童数が急激に減少したり、教育活動に支障をきたしたりすることが心配される時や校区住民や保護者が協議し統合を望む場合には、速やかに統合について協議を始めます」

- 地元住民多くの意見を反映した議論が不足している
- 仮に統合後も、有効活用の為には、現状規模改修は財政負担が大きい
- 「大規模改修しました、必要なら統合の話します」こんな対応では誰も納得しない

子どもたちのため
改修は必要

- 近い将来の統合も見据えた内容だが、現状規模の改修は、地元のためにも財政面にも課題が多い
- 児童のため改修は必要であるが、教育委員会として、6校維持か統合推進か、責任ある姿勢が見えない

九重町健康診査負担金 徴収条例の一部改正

WHOは胃がんの主原因はピロリ菌感染としており、早期の除菌を勧めています。

胃がんの早期発見と早期治療を目的に、胃リスク検診としてヘリコバクター・ピロリ抗体検査とペプシノーゲン検査を新たに実施します。併せて胃がん検診の個人負担金も改正されます。



九重町放課後児童健全育成事業の 設備及び運営に関する基準を定める 条例の一部改正

九重町では、現状、十分な放課後児童支援員の確保が困難であるため、みなし支援員の経過措置を延長し、放課後児童支援員の確保が行えるようになりました。

関連法律により、市町村が条例を定める場合、設備運営基準を参酌することとされたため、町の責任と判断により、みなし支援員の期間延長が可能となったためです。

参酌：他のものを参考にして長所を取り入れること

印鑑条例の一部改正

成年被後見人であっても意思能力を有する方は印鑑登録を行うことができるようになりました。

条例中の印鑑登録の規定から、成年被後見人の欠格事項が削除されます。

特別会計設置条例の一部改正

今年度より地域包括支援センター業務は、指定介護予防居宅支援事業を含めて九重町社会福祉協議会に委託しています。

今後は当該事業を特別会計で処理する必要がなくなったため、条例の設置に関する規定から介護サービス事業特別会計が削除されます。

◆◆◆◆◆ 皆さんの陳情は採択されました ◆◆◆◆◆



後野上公民館を視察しました

陳情 後野上公民館の建替えに関する陳情書

後野上行政区長 佐藤清文氏からの陳情です。

後野上公民館は大正3年に建築され、100年以上、文化、地域活動の拠点として利用されてきました。しかし、雨漏り、床下の腐敗など老朽化が著しく、台風や地震による倒壊も危惧されています。

現地調査で現状を確認し、地域の実情も鑑み、採択しました。

追加議案

九重町ふるさと館指定管理者

九重町ふるさと館活性化協議会（甲斐大史会長）が、ふるさと館指定管理者に指定されました。

指定管理期間は、令和2年4月1日から令和6年3月31日までです。

固定資産評価審査委員会委員

倉原文男さんが表記委員に選任されました。倉原さんは、現在、大分県農業共済損害評価員を務めています。



倉原 文男さん
(飯田・無田上)

人事案件

1件

同意

第1回定例会議案一覽 2月28日～3月19日(21日間)

	番号	付託	案件名	結果		
議案	4	総建産	区長設置条例の一部改正について	可決		
	5		九重町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正について			
	6		各種委員会の委員等の報酬及び費用弁償条例の一部改正について			
	7		九重町臨時的任用職員の任用、勤務条件等に関する条例の廃止について			
	8		職員の給与の特例に関する条例の全部改正について			
	9		職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について			
	10		附属機関の設置に関する条例の制定について			
	11		九重町消防団条例の一部改正について			
	12		交通安全推進協議会及び交通指導員設置条例の一部改正について			
	13		九重町過疎地域自立促進計画の一部変更について			
	14		納税組合の設置及び運営に関する条例の一部改正について			
	15		監査委員に関する条例の一部改正について			
	16		九重町普通河川取締条例の一部改正について			
	17		九重町町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について			
	18		九重町町道の構造の技術的基準等に関する条例の一部改正について			
	19		教民観		印鑑条例の一部改正について	
	20				特別会計設置条例の一部改正について	
	21				九重町健康診査負担金徴収条例の一部改正について	
	22	九重町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について				
	23	無	令和元年度九重町一般会計補正予算（第7号）			
	24		令和元年度国民健康保険特別会計補正予算（第5号）			
	25		令和元年度水道特別会計補正予算（第4号）			
	26		令和元年度飯田高原診療所特別会計補正予算（第2号）			
	27		令和元年度介護保険特別会計補正予算（第5号）			
	28		令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）			
	29		令和2年度九重町一般会計予算			
	30		令和2年度国民健康保険特別会計予算			
	31		令和2年度水道特別会計予算			
	32		令和2年度飯田高原診療所特別会計予算			
	33		令和2年度介護保険特別会計予算			
	34		令和2年度後期高齢者医療特別会計予算			
	35		固定資産評価審査委員会委員の選任について（追加）		同意	
	36		九重町ふるさと館の指定管理者の指定について（追加）		可決	
	陳情	1	教民観		後野上公民館の建替えに関する陳情書	採択

(注) 全員一致の場合は「可決」または「否決」と記しています。可否が分かれた場合は、各議員の意見等詳細を載せます。

**Q 将来に向けて、財政面ではどのように考えているか。
経常収支比率87%の維持ができていない**

A 経常収支比率87.0%、実質公債費比率5.6%を目標数値とするが、経常収支比率については、義務的経費である公債費が7億円を超える規模であることから、当面は全国平均の93.0%を基準に考えていきたい。基金は、適正な執行に努める

Q 若い世代で次の町の姿を真剣に考え具体策を出す事が大切

A 令和2年度に、将来のまちづくりを議論する会議（ワークショップなど）を開催予定であり、次期総合計画策定に向け若い世代の参画を促す

Q 産官学の連携を生かし、体験型のイベントにより移住定住を増やす。空き家活用を活性化させる

A 産官学の連携を図り、移住体験プログラムの開発等も検討する。改修に係る様々な助成制度の周知を図り、空き家バンクへの登録推進を図る

Q 行政区は防災や管理上、簡単な組織に。移住定住を進めるうえで組費などの問題がある

A 各行政区のあり方は、それぞれの事情・考え方があり、町が主体となつての再編は考えていない

Q 介護認定度が下がるケースが多いようだ

A 行政事務組合が調査し適正に行われている

Q 生活に困っている人たちに、もっと直接的に援助すべき

A 生活保護法・生活困窮者自立支援法等にて対応していく。制度につながっていない方を地域（民生委員・福祉委員等）と連携して、つなげていくことが課題。社会福祉協議会と共に地域のつながりを構築していく

Q 町内ショッピング専用のバスを運行する

A 買い物専用バスの運行は、受益者（経営者）が負担すべきで行政支援は難しい。ただし、買い物弱者支援の面から、コミュニティバスのバス停に加える等、再編実施計画の見直し時に検討する

道の駅

必要性、運営形態、設置場所、財政面等へのご意見は今後の調査に活用する。

交通量調査は地域振興・観光振興に資するため、令和元年度に実施した

Q 九重ICや中村交差点で大吊り橋とはっきり分かる看板を

A 九重IC出口には看板を設置している。中村交差点は国が設置した案内板に追記して誘導できないか協議する

Q 吊り橋の北方側に足湯を設置しては

A 足湯については温泉成分等の規制もあり、経費もかかる。北方側の活性化は別に検討する

Q 現在の松木川に変貌した原因を解明すべき

A 令和元年度に町が水質検査、県が濁度調査を行った。水質は問題ないと判定された。濁度検査は、濁りの酷いタイミングで引き続き調査を行う

Q オスプレイの轟音が凄い。ヘリコプターの飛行高度が低くなっているようだ。遠く飯田でも訓練期間中に爆音が聞こえることがある

A オスプレイ飛行時には国県から連絡がある。対策費は町全体が対象地域で、かつ個人ではなく、町全体として実施する事業が対象である。今後は、議会としても対応する
過去の防音工事の補助は家族数等によって補助範囲が決められている

Q 演習場が害獣の巣になっている。対策を考えること

A 猟友会協力のもと、有害鳥獣の駆除を行っており、今後についても継続を依頼する

Q フッ化物洗口では多様な意見を尊重した議論や活動を望む

A: 多様な意見があることを今後も周知して行く。フッ化物洗口の理解が得られるようにも取り組む

Q: 町内生徒も学ぶ志学塾への支援を検討しては

A: 両町で設置した「玖珠美山高等学校振興協議会」で高校への適切な支援を検討するが、志学塾への支援は現在考えていない

CATV放送と議会

CATV 放送の曜日、時間帯、You Tube やライブ活用、夜間議会の必要性等についてご意見いただいた。役場とも話し合い、より多くの皆さんに視聴してもらえるよう努力する

議会クイズ (答え) ③くじ引き です

一般質問通告メ切後、議会運営委員会が開かれて、委員長がくじを引いて決まります



町政を質す 一般質問

8名の議員が質問

町の財政は

……健全な財政運営を堅持
大規模施設に一定のめどがついた



大津留敏加

財政について

大津留 マスコミ報道で、県内の市町村の一部に、国の財政再生団体に転落するおそれがある。町の財政危機の恐れはないか。

町長 健全な運営に努めており、問題はない。ここのえ緑陽中学校やこども園、各地区ふれあい交流センターの建設等を実施、大規模施設の建設には一定のめどが立った。経常収支比率87%、実質公債比率5.6%の目標を定めている。平成30年度経常収支比率92.1%、目標5.1%上回っている。実質公債比率5.4%、目標0.2下回っており目標数値達成に努める。



平成25年開校したここのえ緑陽中学校

農業振興について

大津留 町内の農業に重要な2つの団体、九重町飯田農協、玖珠九重農協がある。金融事業を現状で続けるには法改正による有資格者複数の配置が必要となり、事業継続が困難であることから、大分県域農協と両農協の合併協議会が本年2月に発足した。町としては、両農協、各部会と連携し農業振興をどのように進めていくか。

町長 両農協は来年4月の合併に向け、現在サービスが低下しないように業務をしっかり引き継いでいく方向で協議を行っている。町の農業振興の施策については、両農協のかかわりは大きな存在である。県域合併がなされたとしても、引き続き連携を取りながら町の農業振興を行っていく。



九重町飯田農協

佐藤
明郎



町の将来・公共施設のあり方 財政負担を憂慮

… 人間、地域のつながりが
今後の町づくりのポイント



淮園小学校の大規模改修を計画

佐藤 中学、こども園、4地区交流センターの完成で、大型公共施設への投資が一段落したが、一方で庁舎、文化センターなど、築20年を経過し、莫大な修繕費が計上されている。

将来、公共施設の維持管理が財政負担にならないか。

町長 総合管理計画で、今後40年間で324億円と推計している。財政計画を立てており、過度の負担にはならないと考える。

教育委員会の方針が見えない

佐藤 今回、学校配置計画を、大きく方針転換した。教育委員会として、将来を見据え、6校維持か、統合推進か、基本姿勢が見えない。

教育長 議論の結果として、6校を維持する。ただし、地域から統合を望む意見が出れば、速やかに検討する。

佐藤 学校に対する改修は必要と考えるが、将来的に、どの程度の大きさの施設を残すのか。規模について、どの様に考えているのか。

教育長 既に耐震改修を行っており、減築とか、規模を減らしてというのは、非常に難しい。

佐藤 子ども達に必要な改修は当然だが、現状規模の投資をして、教育委員会の方針では、その数年後に、その校舎が統合される可能性もあるのでは。

教育長 検討委員会の中で、各地区代表者から、意見を頂いており、現段階ではそのようなことは想定していない。

佐藤 現状の判断に止まらず、この先の児童、地域住民が将来的に使いやすい、維持費なども含めた規模の検討をすべきでは。

教育長 今後、協議しながら、設計の段階で考えていきたい。

今回、改定された小学校配置計画

「改定前」
小学校は、6校とします。但し、九重町の適正規模の基準に基づき、将来計画において地区1校の町内4校配置とするものとし、関係地域住民との合意形成に努めます。

「改定後」
小学校は6校とします。
ただし、全校児童数が急激に減少したり、教育活動に支障をきたしたりすることが心配される時や校区住民や保護者が協議し統合を望む場合には、速やかに統合について協議を始めます。

投資の重点を建物から人へ

佐藤 公共施設への投資も必要だが、各団体の後継者不足も叫ばれる中、施設に対する投資よりも、住んでいる人々の支援に投資する、これを全面的に、町民に打ち出し、人材育成も含め、推進すべきでは。

町長 これからの時代、人づくりが必要。物から人への時代だが、どういう形で町民に示すのか、課題もある。

人間同士のつき合い、地域のつながりが、まちづくりのポイントと考える。

今後はそういう形で進めていきたい。

対話の町政 検証と反映は

…………… 対話回数は減ったが、必要性は実感



小川 克巳

対話の町政 検証と反映は

小川 住民との対話が町政の指針と自負する町長だが就任以来、対話の実施状況や対話で得たもの、町政に反映できたことなどの検証は。また、今後、対話で地域課題をどのように共有していくのか伺いたい。

対話回数は減ったが、必要性は実感

町長 町民との対話状況は年々減っているが、町政執行上は重要なことであり引き続き開催できるよう努力したい。

将来を見据えた話し合いもあったが、主に要望的なことも含め、お願いの場や苦情等が多かったので反省も踏まえ、地域課題等共有し解決に向け努力したい。



緑陽中での対話会(未来ナビ)

新たな住民サービスに対して検証は

小川 昨年4月からスタートした飯田公民館での住民票や印鑑証明など証明書交付業務、高齢化が進展する中、住民サービスの向上は図られたが実績等の検証踏まえ利用件数など投資効果を伺いたい。

検証はまだできてないが、改善を図る

町長 飯田公民館での住民票等の発行状況は、2月末で287件、1ヵ月平均約26件の交付。検証は、

行っていないが、今後必ず検証して内部協議を行い継続かどうかの判断をしたい。

小川 利用は1日平均1件強と非常に少ない。他に手法があるのではないかと。

町長 どういうやり方が効率的なのか検証しながら、引き続き、高齢化社会に向けた住民サービスのあり方を考え、改善を図っていきたい。

町職員の長期休暇や退職が多い対処は

小川 近年、職員の長期休暇や退職が多発しているが、健康管理も含めてメンタル面のケア等、対処や要因等を伺いたい。

30日以上病休等は今年度7名

町長 30日以上連続する病気休暇や休職となった職員は令和元年度7名で内4名は現在復職している。

最近の状況は30年度5名、29年度4名、28年度が5名で、対処法として職員安全衛生委員会等で協議しながら、産業医に相談したり事務局で対応をしている。



証明書を取得に訪れた町民

その他人口減少対策、公園の拡張整備についても質問しました。

佐藤
博美



九重町の一番大きな課題 人口減をどうする

…… 町有地を活用して宅地造成を

佐藤 九重町の一番の課題は人口減の問題である。昨年9月末の九重町の人口は8,895名、1年間で約150名が減っている。九重町に住みたい人が住むことができる住宅、家を建てたい人が立てられる宅地の造成や、田舎暮らしをしたい、移住、定住をしたい人達を受け入れるための、空き家バンクの充実と、受け入れ体制を考えるべきではないか。

町長 この人口減少は町の一番大きな課題だと考えている。今年、町有地を活用した宅地の造成に取り組んでいく。今後も町有地の未利用地の活用もスピードを持って検討していきたい。又移住、定住施策は空き家登録に対する物件の委託をしていく移住の受入体制を充実するため、移住者自らが組織を作って、移住をしていく人達のフォローをしていく体制を行政として支援していきたい。

町長 町単独での施策は現実的には厳しい。県や国がコロナウイルスに関する資金、制度等を設けているので、町や商工会、金融機関が連携しながら適切な支援を行っていきたい。



道の駅(玖珠町)

九重町の拠点となる道の駅 基本的な考え方を…

佐藤 道の駅については、議会の中に調査チームを作り、県下の道の駅の視察をしたり、お出かけ議会でも町民の意見を聞き、九重町の拠点としての道の駅の建設に対しての多くの要望がある。年度当初に当たり、基本的な考え方を伺う。

もっと議論を深めていきたい

町長 町としても今年210号線を中心とした車の流動調査を年4回行っており、今後の議論の基礎にした。施設ありきではなく、どのような施設にしたいのか、地域活性化にどれだけ寄与できるのか、関係機関や住民の皆さんも交えて議論を深めていきたい。



宅地造成が予定される釣住宅の空き地

九重町の観光を守るため 行政としてどうする

佐藤 昨年韓国との国際問題でインバウンドが減り、今回はコロナウイルスで中国、台湾はもとより、国内の動きもなくなり、旅館、ホテルは非常に厳しい状況にある。九重町の観光を守るために行政としてどう取り組むのか。

コロナウイルス対策、町民の健康と安全を しっかり守っていくためには、町の独自性を 貫く緊張感と気構えが必要

…………… 引き続き気を引き締めながら努力する



増田 裕子

増田 突然な国の休校「要請」に対して、九重町も2日から小中学校休校にいたった過程は。

教育長 28日朝、町の対策会議の方針を受け、教育委員会、臨時校長会を開催して協議した。保護者や放課後児童クラブ等の協力も得ながら、今後できるだけ子どもたちへの対策を検討していく。

増田 不足しているマスクや消毒液など、町の備蓄から無償提供してはどうか。

町長 現在1万5千枚ある。すでに放課後児童クラブには配布した。高齢者施設や医療機関の在庫状況等を調査しており、今後の対策を検討している。



放課後児童クラブで遊ぶ子どもたち(時間を決めて外遊び)

フッ化物洗口、薬剤を使った予防を学校で実施することに反対！ 慎重な対応と是非両論の情報提供を

増田 一昨年、議会でも激論になった。昨年9月から始まった小学校でのフッ化物洗口、事故や副作用の報告はあるか。

教育長 他地域で見られたような浮遊物や異物混入はない。安全上の配慮は、学校もきちんと取り組んでいる。ただし5件、洗口後に残った液を少し飲んだ児童にカルシウム入り飲料を飲ませ対処した。

増田 来年度中学校での実施に向けての計画は。中学生では、本人の意思決定が重要と考える。

教育長 9月本格実施に向けて、説明会、意向調査、資料提供等、保護者・生徒に行っていく。



フッ化物洗口をする子ども達

このえまち総合サービス会社の これからは？

増田 新年度委託金は4千548万6千円と昨年より900万円ほど多い。増額の内訳と今後の考えは。

町長 主な内訳は、これまでの人件費プラス

- 1 長者原観光案内所職員 240万円
- 2 社員の管理監督単価アップ分 170万円[Ⓢ]
- 3 泉水キャンプ場繁忙期パート 40万円[Ⓢ]
- 4 一般管理費 510万円[Ⓢ]
- 5 消費税アップ分 110万円

委託や収益事業、住民サービスがしっかりとできるような会社を目標としてつくっていく。いましばらく時間をいただきたい。

増田 町長就任3年半の総括、今後の具体的な目標と展望をどう考えているか。

町長 総括には若干早いですが、住民自ら行動する「地域力」を作り上げたい。地域づくりの人たちが少しずつ増えている。持続可能な町を次の世代につなぐ「コミュニティ」の関係づくりと健全な財政運営に努力する。

岐部
俊哉



新型コロナ・町の将来・しごと… 不安な時にこそ望まれるリーダーシップ

…… ワンボイス・オンタイムで町民に訴えていく

令和の時代を生きる! 第5弾 2020「人づくり」は「町づくり」 新型コロナウィルス対策を質す 行動計画このえバージョン作成と提示

岐部 このえバージョンの行動計画の作成が必須と考える。町の対策本部での進捗状況は。

町長 2015新型インフルエンザ行動計画に準じて国県市町村が足並みをそろえて対策に取り組む。

岐部 非日常を我慢して不安な状態が続く中タイミングを逃さないオンタイムで町長のワンボイスでの発声が必要かと考えるが。

町長 現実的に危機対応では責任者としてしっかりと町民に訴える覚悟はできている。

岐部 メディアリテラシー教育については是非この機会をチャンスと捉え取り組んではどうか。

教育長 休校の要請以来真っ先に現場の状況把握に取り組んでいる。ご指摘のようにデマや混乱を生むメール等の対応は今後校長会に提案する。

まちひとしごと創生総合戦略について PDCAで形骸化しない計画と実践を

岐部 第2期総合戦略はプロジェクトチームも巻き込んで第5次の長期総合計画に取り組めないか。

町長 プロジェクトチームの取り組みは第5次総合計画の策定に反映するもので第2期総合戦略とは直接に関連性はない。

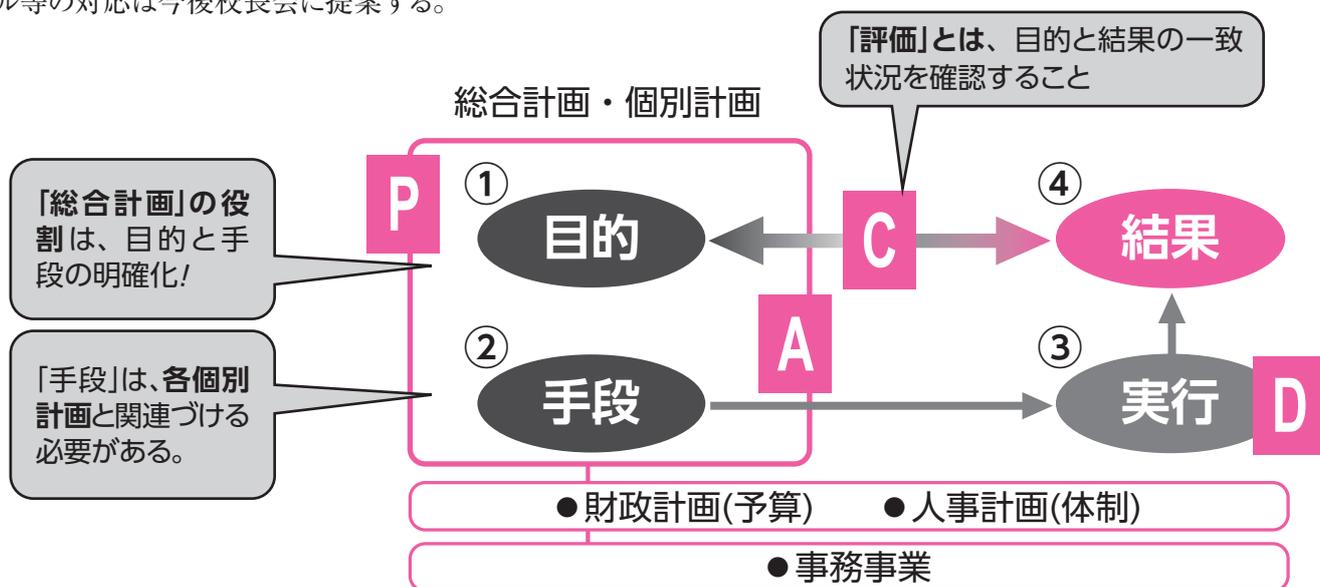
岐部 計画や戦略には狙いとプロセスがある。形骸化しないように進めてもらいたい。

町長 課題は戦略が住民と共に動いていないこと。この方法を2期目には考えていく。

学校司書について

岐部 OECDのPISAで日本人の読解力低下が問題になっている。最前線で活動している司書の安定した配置と手当の拡充は。

教育長 司書の重要性は十分把握しており来年度予算にも計上している。



「総合計画」の役割と、マネジメントのサイクル

参考サイト：コラバド 2018.11.15掲載記事より

財政問題について (令和2年度当初予算について)

…………… 防災行政無線デジタル化等の新規事業のため、
一般会計は対前年比12.9%増となった



岩尾
茂樹

岩尾 一般会計当初予算が12.9%増と県内の他市町村と比較して一番の伸びとなっているが、予算の編成方針を伺う。

町長 公共施設の老朽化・長寿命化対策、経常経費の削減、財政負担の平準化等である。財政の健全化のため将来に負担を残さないこと等考えている。

岩尾 平成30年度決算で単年度収支が赤字、経常収支比率が92.1となった状況を鑑みたときに、今回の予算は緊縮財政、緊縮予算を組むべきではなかったかと考えるがいかがか。

町長 就任初年度から必要以外のものについては出来るだけ事業を行わないという方針で進めてきた。

防災無線のデジタル化についてはやらなければならない事業のひとつでもある。



防災行政無線屋外スピーカー

岩尾 新規事業の実施については理解するが、基金の取り崩しが進んでいる財政のことを考えると、既存事業の見直し、スクラップ・アンド・ビルドが必要だったと考えるがいかがか。

予算要求に問題があると思うが職員の財政状況の把握や町長との意思疎通はどうなっているか。

町長 予算の決定、最終的な責任は私にあり、各課が精査して上げた要求を内容や進捗状況、今後の見込み等を聞き、どの規模、程度が妥当か、補助制度

なども聞き編成している。

岩尾 伸び率が低かった市町村は、予算が大きくなるよう努力していると思うが、いかが思うか。

町長 伸び率は前年の状況で変わるので、特段伸びたとは思っていない。

岩尾 財政健全化のひとつの指標となるプライマリーバランス(基礎的財政収支)の見込みは。

町長 予算ベースでは令和元年度、2年度とも黒字化が図られている。

岩尾 経常収支比率の見込みは。

町長 令和2年度の予算ベースで算出すると98%前後になると見込んでいる。

岩尾 自律推進計画に掲げている経常収支比率等の目標値は生きているのか。

町長 その計画を目指してやっていく。

岩尾 基金残高が減少し、平成30年度決算時の「広報ここのえ」で述べているコメントと差が著しく、財政不安が懸念されるがどのように考えているか。基金は災害等の際に重要な財源であり、近年においては自治体間で支援に差が出ている実情がある(自治体間格差)。基金の積み増しを要望する。

町長 現在の数値は予算段階の状況であり、今後余剰財源を利用し、積み立てや繰り入れ戻しを行いながら、同水準を確保していきたいと考えている。



防災行政無線室

麻生
良典



地域の課題意識を喚起するためには

…… 公民館と共にある地域づくり
学校と共にある地域づくり も発想起点にする

まちひとしごと総合戦略

麻生 基本目標の達成度はどうであったか。

町長 下の表のとおりである。

麻生 第2期総合戦略に、第1期の結果はどのように生かされているのか。

町長 目標の立て方に工夫が必要と感じており、適切に評価できるよう設定した。施策や事業については適宜検証し、必要に応じて内容や目標を見直すことを考えている。

麻生 総合戦略の重要性を鑑み、第1期の振り返り含めて各地区での意見交換を行うべきであり、パブコメ募集期間に実施できたのでは。

町長 県との整合性をとるために策定期間が遅れ第1期の流れを継承することもあり、パブコメ募集のみとした。コメントは1件あったが、総合戦略に直接関係する意見ではなかった。

町政基本方針

麻生 第5次総合計画の策定に着手するに当たっては、具体的な町の将来像を描くことになっている。具体的な将来像は。

町長 町政の各分野で将来像を描くことが具体化であり、それを統合したビジョンを策定することが今期の活動である。

麻生 地域創生を加速するとは、具体的に何を行うのか。

町長 地域創生とは、地域で人をつくり、その人が仕事をつくり、町をつくっていく好循環が生まれる状態だと思う。人口減少対策などの取り組みを切れ目なく粘り強く実行することが肝要。施策の実効性を高めることに注力し、PDCAも活用することで加速する。事業推進を担当課に留めず、全体で共有することも加速に有効である。

まちひとしごと総合戦略		達成度	
基本目標Ⅰ 雇用創出数 4人/20人=20%	基本目標Ⅱ 社会増減均衡 268人減	基本目標Ⅲ 合計特殊出生率 2.30/1.85 達成	基本目標Ⅳ 交流人口 5% 未達成
担い手創出 64人/10人=640%	移住者 23人/100人=23%		お達者年齢 県1位 未達成

教育行政基本方針

麻生 社会教育関係職員はどのようにして地域の課題意識を喚起するのか。

教育長 公民館での色々な集まりを利用してワークショップなど住民同士が話し合う機会をつくる。支え合い・助け合いマップ作りの場を、住民自ら課題解決への取り組みができるよう支援する。職員も問題課題を把握し研鑽を積む。

公民館と共にある地域づくり、学校と共にある地域づくりの発想も持ち積極的に目標に向かう。

このえまち総合サービス

麻生 設立後およそ2年が経過した。民間として進めるには経営トップを早期に民間から起用すべき。

町長 県の人材センターも活用したが、金銭的な処遇等で折り合いがつかなかった。会社は発展途上で基盤固めが必要な時期だが、登用は計画から遅れている。

麻生 この時期だからこそ民間力が必須で、倍の給料を払ってでも登用すべき。

町長 検討する。

民生委員について

麻生 民生委員の活動をどのように支援するのか。

町長 委員の役割や活動は広報1月号で紹介した。

小さな集まりの場などで紹介するチラシを作成済み。

活動マニュアルは間もなく完成する。民生委員協議会等と話し合い進めている。民生委員の皆さんがやりがいのある活動ができるように取り組む。

委員会の見直し

麻生 委員会の見直し状況は如何か。

町長 各委員会で整理を行い、機能していない委員会は当初予算から削除した。それ以外の委員会は、町の付属機関に位置付け条例化して整備を行った。

2/13

農業委員会と議員との意見交換会

昨年新体制になった委員さんの紹介と活動状況の報告を受けてから、意見交換に入りました。

毎月の会議や戸別訪問調査、農地調査、人・農地プランの実質化、担い手への農地集積や遊休農地の発生防止・解消活動など意欲的に取り組まれている委員の皆さんとの活発な意見交換。

問題や課題を共有するいい機会となりました。農業と観光の町・九重の未来へ向けて、これからも意見交換を続けていくことを確認しました。



消防団特別点検(栗野河原運動公園)

1/19

小型ポンプ操法では訓練の成果が披露され、全国大会での活躍が期待できる素晴らしいものでした。特別点検の最後を飾る放水点検では各隊の団員が放水すると、万年山に虹がかかり、地域を守る消防団の活動に花を添えていました。

新春チャリティー芸能かくし芸大会に参加

1/26

どちらも花柳流富士和会の橋爪先生を始め会員の皆様の指導を仰ぎ、夜間6回の練習を重ねての披露でした。練習ではなかなか合わずどうなる事かと心配しましたが、本番では息の合った踊りになって一安心。

このチームワークをこれからの九重町政に生かして行ければと思います。



夫婦春秋



きよしのズンドコ節

あたしのひとこと

「ちよつと手つだつて
くれんね」「いいばい」

東飯田 川上ー
甲斐 恭子さん



昨年の四月に東飯田地区に「くらしのサポート東」が設立されました。私も一活動会員で、登録させていただきました。

月一回の例会で、活動報告があります。活動会員は、草刈りや通院付添など色々な支援を行い、利用会員から喜びの声をいただいています。

人口減少・高齢化社会において、「お互い様」の気持ちで支え合えることは大切で、幸せなことだと感謝しています。多くの皆様のご加入をお願いしたいと思っています。

すべてができるわけではありませんが、日常生活で「こんなことしてもらいたい」といったことを、悩まずご相談してみてください。

ところが、日常生活で「こんなことしてもらいたい」といったことを、悩まずご相談してみてください。

ところで私は、「笑いヨガ（笑う体操）」を勧めています。みなさんの笑い顔に、私自身が癒されます。怒りや不安は置いといて、笑ってみませんか（気持ちがあつとすゝるかも）。

笑いと共に「くらしのサポート」活動が広がり、皆さんが楽しく暮らせることができればいいなと思います。



通院支援をするくらサポの会員

栃木サロンをはじめ

南山田 串野上ー
永楽 徳子さん



私達「栃木和み会サロン」は僅か10戸の小さな集落のサロンです。サロンを始めてまだ2年足らず。平均年齢81歳になる8名（内男性2名）で発足して週一回の体操・脳トレ等を待ち遠しく思い楽しんでいきます。

特に脳トレでは思うようにいかない私たちを親身になって熱心に指導くださることに関心感謝しています。

一人ではできませんが、皆で取り組めば楽しく時が過ぎます。終わった後には皆でお茶を飲みながら笑いの中にもコロナの終息を願うような時事



体操風景

ネタもあり話が尽きません。これからお互い助け合いながら健康寿命を少しでも伸ばして元気に過ごしていきたいです。

サロンに携わっていただく先生方には心から感謝しています。





バトンをつなぐ

第5回

議員リレー

地区リレー



⑤ 麻生良典

会社勤めから一転、議員生活4年目。高校卒業以来の故郷での生活に慣れる間もなく、世間が一気に広がり、試行錯誤の連続。近隣や遠方の方々のお陰で、鋭意、活動しています。

科学技術の発展は我々の生活を大きく変え、今後はその速度を上げるでしょう。技術は国や町の課題の多くを解決し、並行して別の問題も起きるでしょう。

いつの時代も我々住民の力でしか町は持続できません。お天道様と一緒に前を向いて歩きましょう。

野上



青山愛宕地蔵の春季大祭にて

飯田



飯田こども園卒園式

議会クイズ

一般質問は、締め切りまでに通告(質問の内容を所定の用紙に書く)を提出した議員が行います。

さて、順番はどうやって決まるのでしょうか?

- ①通告を提出した順
- ②話し合い
- ③くじ引き

答えと理由は9ページを見てくださいね

議会だよりについて
ご意見をお聞かせください。
【議会事務局:76-3814】

令和2年4月17日
発行/九重町議会 編集/議会広報特別委員会
〒879-4895 大分県玖珠郡九重町大字後野上8番地の1
☎ 0973-76-3814・FAX 0973-76-3809
メール(議会事務局) gikai@town.kokonoe.lg.jp

編集後記

町の予算が決まりました。一方で新型コロナウイルスの予防と対策。

対岸の火事と思っていいたら火中の栗を拾うことに…(苦笑)

終息宣言は?

エビデンスは?

と世界中の誰も分からないことを気にしている方も多いですね。

その原因は不安です。

不安はじっと座ってテレビを見ても解消しません。

少しでも体を動かして、せめて自分の体力と抵抗力の低下だけは避けましょう。

恐れず怠らず!

岐部 俊哉

広報委員長 増田 裕子

副委員長 麻生 良典

委員 有吉 富生

委員 佐藤 明郎

委員 岐部 俊哉

委員 野上香代子